

OSAKA
SEIKO
GAKUIN
ASSISTENZA



大阪星光学院
SCHOOL GUIDEBOOK 2025



大阪星光学院

〒543-0061

大阪市天王寺区伶人町1-6

Tel. 06(6771)0737

<http://www.osakaseiko.ac.jp/>



あなたがたは世の光である。
あなたがたの光を人々の前に
輝かしなさい。

マタイ福音書 5章14-16節

OSAKA SEIKO GAKUIN
CONTENTS
SCHOOL GUIDEBOOK 2025

- 01-02 Introduction
- 03-04 教育理念・沿革
- 05-06 よき社会人の育成・日々の学び
- 07-08 世界を視る眼を養う・将来を見据える
- 09-10 合宿①～南部学舎～
- 11-12 合宿②～黒姫星光山荘～
- 13-14 合宿③～聖トマス小崎研修館～ 進路指導
- 15-16 クラブ活動・年間行事
- 17-18 施設紹介
- 19-22 募集要項・アクセス

OSAKA
SEIKO
GAKUIN

Introduction

大阪星光学院は、「世の光であれ」を校訓としています。
「世の光」とは、灯台のように社会を照らして
多数の進むべき道を示す人物であり、
あるいは、電灯のように周囲に光を放って
人々の希望となる人物であり、
あるいはまた、ろうそくの灯のごとくほのかながらも
ひとりの人から頼りにされる人物のことです。
大阪星光学院は、「世の光」になろうとする若い人を求めます。
そして、若者たちにあたたかいまなざしをもって寄り添い、
アシステンツァ(ともにいること)を通じて、
まずその心に愛の光を灯したいと願っています。
成長期にある若者の知性を高め、意志を強め、
心を豊かにすることにより、
この学院から様々な「世の光」が巣立ってゆき、
多くの分野で社会に貢献することを念願しています。

assistenza

「ともにいること」を意味するイタリア語「アシステンツァ」。
本学院の母体であるカトリック修道会「サレジオ会」が考
える教育の基本姿勢です。信頼と相互理解をつちかうアシス
テンツァは、サレジオ会の学校の大切なアイデンティティです。
本校の生徒と教職員は、ふだんの学校生活はもちろん、南部
学舎や黒姫星光山荘、聖トマス小崎研修館などでの合宿生活
(中学・高校6年間で約60泊)を通じ、非常に多くの時間を
ともに過ごします。その中で、教職員は生徒たちが望むこと、
大切にしていることを知り、生徒たちはおおらかに見守られ
ていると感じ、お互いの信頼と理解を深めていきます。

愛なくして信頼なく、 信頼なくして教育はない

ドン・ボスコ

生徒と教職員が多くの時間をともに過ごし、じっくりと信頼関係を深めていきます



サレジオ会の創立者
聖ヨハネ・ボスコ

聖ヨハネ・ボスコは1815年、北イタリアの貧しい農家に生まれ、苦学の末に司祭となりました。そのころのイタリアでは、産業革命が波及する中で、都会に流入した青少年の多くが悲惨な生活を強いられていました。そんな青少年のために身を捧げることを決意したヨハネ・ボスコは、さっそく「オラトリオ（祈りの家）」という教育事業を開始し、その後、多数の協働者たちを得てサレジオ会を設立し、青少年の教育に生涯を捧げました。

サレジオ会の教育施設では、当時の禁圧的な教育にかわるものとしてヨハネ・ボスコが提唱した教育理念「アシステンツァ」が実践されました。この新しい理念のもと、多くの青少年に寄り添い、彼らを励まし、そして導いたヨハネ・ボスコは、のちにローマ教皇によって聖人に列せられました。

聖ヨハネ・ボスコは、その教えを受け継ごうとしているサレジオン・ファミリーの人たちから親愛の情をこめて「ドン・ボスコ」と呼ばれています。



第11代学長
カトリック・サレジオ修道会 司祭
田沢 幸夫

サレジオ会の創立者、聖ヨハネ・ボスコは、様々な苦労や困難を体験しながら、教育活動を続けました。今、私たちが困難な時代に生きています。大阪星光学院は、創立者の精神にならない、どんな状況にあっても神を信頼し、前へ進む人間を理想としています。生徒の皆さんには、自分の可能性を伸ばし、「よろこび」を見いだすことを期待します。勉強で新しいことを学んだり、いろいろな事にチャレンジするのは、喜びにつながります。また、人との関わりも大切です。「人からしてほしいと思うことを人にしなさい。」という聖書の教え（黄金律）の実践が、人に喜びを与えることとなります。皆さんが、「世の光」として、周りの人に喜びと希望をもたらす人間に成長することを願っています。

沿革

- 1859年 ヨハネ・ボスコがサレジオ会を創立
- 1926年 9名のサレジオ会員が宣教活動のために来日
この会員の中に学院創立者マルジャリア神父がいた
- 1949年 マルジャリア神父が来阪
- 1950年 大阪星光学院創立
初代校長にマルジャリア神父が就任
- 1958年 講堂・修道院落成
校歌「星のしるべ」制定
- 1964年 体育館落成
- 1968年 聖トマス小崎研修館、黒姫星光山荘落成
山荘での夏期・冬期行事始まる
- 1969年 同窓会発足
- 1970年 生徒協議会発足
第1回スクールフェア（文化祭）開催
- 1973年 南部学舎落成。翌年より南部特別授業始まる
- 1980年 玉造聖マリア大聖堂にて創立30周年感謝ミサ举行
- 1983年 浮瀬俳跡蕉蕪園開園式举行
- 1990年 玉造聖マリア大聖堂にて創立40周年感謝ミサ举行
- 2000年 創立50周年記念誌「星のしるべ」刊行
- 2007年 新校舎第1期工事完了
- 2008年 新校舎第2期工事完了
- 2009年 新校舎竣工記念ミサ举行
- 2012年 第10代サレジオ会総長チャーベス神父来校



世界に広がるサレジオ会の活動

ドン・ボスコは1859年、自身が深く敬愛する「慈愛と柔和の聖人」聖フランシスコ・サレジオの名を冠して「サレジオ会」という修道会を創立し、青少年の教育事業を進めました。その志は連綿と受け継がれ、現在、世界138か国で約2,500校がサレジオ会によって運営され、ドン・ボスコの理念に基づく教育活動をおこなっています。



深い人間関係と高度な学力を6ヶ年、3ヶ年で育む
よき社会人の育成

第1期

中学1年生・中学2年生

基本的な生活習慣を確立したうえで、しっかりとした基礎学力の充実を図ります。それとともに、多様な価値観を受け容れるおおらかな心を養います。



第2期

中学3年生・高校1年生

関心領域を広げながら、教科の枠を超えて知識を関連づけ、体系化する力を養います。将来についてじっくり考え、自己の適性の発見に努めます。



第3期

高校2年生・高校3年生

理系・文系に分かれ、各自の進路目標の実現に向けて学力のさらなる充実を図るとともに、社会における自己の役割についての考えを深めます。



世の光 …………… 家族・社会・世界の中で生きる喜びを分かち合う人

日々の学び

6年間・3年間を総合的に見通して精選された効果的なカリキュラムが編成され、知性に磨きかけられます。大阪星光学院で過ごす日々を通して、やがて社会に出てともに生きる人々のために、寛大にそして誠実に生きられる人格の形成を目指します。



この空間がここに流れる時間が 生徒の「知・徳・体」を磨きます

学院の一日のはじまりは「朝の放送」。朝礼時に司祭らが全校放送で生徒に語りかけ、実り多い一日へと導きます。各科の授業は、もちろん大阪星光学院での学びの基本。頭と心と体のアンテナを研ぎ澄まし、先生から、そしてクラスメイトからも、多くのことを吸収します。授業の後のクラブ活動では、頼れる先輩が後輩たちを励まし、リードします。生徒たちの学校生活の様々な側面を、生徒指導の先生、保健室や図書館の先生、そしてスクールカウンセラーの先生が、おおらかな心で見守り、サポートしてくれます。大阪星光学院は、あたたかく、のびやかで、どこかなつかしい学びの場でありたいと願っています。

▶ 学院の1日



※土曜日は4時限まで ※7時限目授業を行う曜日があります。(中学…火曜、高校…月曜)

生徒一人ひとりの「学ぶ意欲」を刺激する こまやかで多彩な学習指導

本校の校舎には、各科の実験室や特別教室だけでなく、進路指導や面談のための特別室、生徒の質問に先生たちが対応するためのスペースなどが豊富に設けられています。これらの設備を活用し、生徒たちの「学ぶ意欲」を刺激する新鮮な授業を工夫するとともに、中学ではこまめに定着度を確認し、高校では各人の進路希望に合わせた少人数の選択授業も取り入れながら、こまやかに学習指導を進めています。高校からの入学者に対しては進度に応じて細やかな補習を行なっています。一方で、校外の様々なコンテストに参加して他校の生徒たちと切磋琢磨することも奨励しています。例年本校が第一次選考の会場となっている「化学グランプリ」をはじめ、「物理チャレンジ」や「数学オリンピック」などを通じ、生徒たちは高度で幅広い学びの意欲を高めています。「アシステンツァ」を通して生徒の現状を把握した先生たちが、生徒一人ひとりの変化に気を配り、柔軟な指導に努めています。

▶ 週あたりの授業時間

[中学校]	国語	社会	数学	理科	芸術	保体	技家	英語	道徳	総合学習	
1年	5	4	6	3	2	3	2	7	1	2	
2年	6	4	6	4	2	3	2	6	1	2	
3年	6	3	6	4	2	3	1	7	1	2	
[高等学校]	国語	地歴	公民	数学	理科	保体	芸術	外国語	家庭	情報	総合探究
1年	6	4	2	6	6	3	2	6	2		
2年	6	文6理3	文3理1	文5理6	文2理6	4		6		1	2
3年	文8理6	文8理4	1	文6理7	文2理7	2		6		1	1

世界の最先端を探究し、実感する 世界を視る眼を養う

「異なるバックグラウンドを持つ他者との共生を目指す」という現代カトリック精神に基づき、様々な体験を通して、生徒は世界を体験していきます。「世の光」として世界にはばたいていくための知見を身につけて欲しいと願っています。



幅広い視野を培う 将来を見据える

自分の将来を考えることは、若者にとって悩み多き課題です。講義、ツアーなどの場を設け、視野を広げる機会にしています。様々な選択肢を目にして、自分の進むべき道を見極めていきます。



中学3年生 高校1年生(春休み)

オーストラリア研修

言葉がひらく、新しい世界

希望者(各学年20名ずつ)が春休みに参加します。約二週間ホームステイをしながら、現地の学校の授業に参加します。机上の学習だけでなく、オーストラリアの広大な大地、人々の温かさに支えられながら、英語力と人間力を高めていきます。



Student's Voice

71期生 | 中筋 貴良さん

始めは自分の伝えたいことを英語で話すことに不安を感じるかもしれません。それでも勇気を持って話してみてください。自分の言いたいことが相手に伝わった時の喜びは一生ものです。その喜びが、英語でのコミュニケーションの第一歩となります。



中学2年生 ~ 高校2年生(夏休み)

サイエンスツアー

科学の最先端に間近に触れる

希望者約45人が、先生、OBとともに第一線の研究施設などを訪れます(スーパーカミオカンデ、KEK(高エネルギー加速器研究機構)、JAXA筑波宇宙センター、リニア見学センター等)。生徒の好奇心は、テクノロジーを生み出す科学の深奥に触れ、高く羽ばたきます。



Student's Voice

72期生 | 西谷 一希さん

サイエンスツアーの良いところは科学に対する興味や関心が広がり、そして普段ではできない体験ができることです。ひとつひとつの体験が人生を良い方向へ導いてくれる、そんなツアーだと思います。



高校1年生 高校2年生(7月)

ハーバード大生との英語交流プログラム

英語を学ぶのではなく、英語で学ぶ

ハーバード大生を招き、クリティカルシンキングを取り入れた英語表現力を磨くためのトレーニングプログラム(希望者)を実施します。様々なテーマのワークショップに参加し、ハーバード大生とあるいは生徒同士でディスカッションを行います。最終日(3日目)には参加者全員がプレゼンテーションを英語で行います。



高校2年生(8月)

ボストン研修

世界の叡智に触れる

約一週間ボストンに滞在し、ハーバード大学とマサチューセッツ工科大学の特別講義を受けます(希望者)。両大学を巡り、最先端の施設見学や実験型アクティビティを通じて、学問の本質を探ります。様々な領域のエキスパートと出会うことによって、世界を視る眼を養います。



中学3年生~高校2年生(4月~9月、10月~3月)

ほしゼミ土曜講座

知る、学ぶ、生きる

OBを中心として様々な分野で活躍されている方々を講師に招き、土曜日午後に特別授業を実施しています。2022年より「ほしゼミ探究+」という新たな講座が加わり、講義やワークショップを通して、様々な分野についての関心を深めていきます。



高校1年生(11月)

京大キャンパスツアー

大学の息吹を肌で感じる一日

1年生全員が、秋の京都大学を訪れます。高2からの文系理系選択を控えた生徒は、大学教員・大学生・大学院生のOBとコミュニケーションをとる中で、大学で何を学ぶのかを真剣に考えます。
※東大キャンパスツアーは希望者対象で高1夏に実施しています。



「アシステンツァ」を体現する場

みなべ 南部学舎

和歌山県のみなべ町に位置する南部学舎。

目の前にはウミガメの産卵で有名な「千里の浜」がつづき、近辺には熊野詣に関係する神社や史跡が数多くあります。敷地面積19000㎡の学舎には200人を超える宿泊が可能で、1学年全員が同時に生活をともにすることができます。

四つの教室のほかに家庭科調理実習室があり、学舎の前には芝生のグラウンドが広がります。

中学の「南部特別授業」では、磯の生物調査や、手作りの望遠鏡を用いた星空観察、浜辺での詩作・スケッチ、周辺の農園の見学など、恵まれた環境を生かした多彩な学びのプログラムを体験。長期休暇中の勉強合宿では、密度の高い学習によって学力を大きく伸ばすことを目指します。



生物『磯実習』(中学)



数学『計測』(中学)



自由時間(中学)



熊野古道散策(中学)



家庭科『調理実習』(高校)



OBの話(高校)



黒姫星光山荘

長野県信濃町は俳人小林一茶生誕の地。その旧宅にほど近い森の中に、敷地面積23,000㎡の黒姫星光山荘があります。

中学生の夏期合宿では、登山のほかにキャンプファイヤーや飯盒炊さんなどを楽しみ、冬の合宿では、先生の指導のもとスキーの技を磨きます。また、信濃町の協力により、現地の農家などでの農村生活体験の機会を得て、星光生は都会では経験できない貴重な時間を過ごします。

夏休み中の勉強合宿では、高原の涼気の中で勉強に集中します。



飯盒炊さん(中学)



農村生活体験(中学)



キャンプファイヤー



火打山登山(中学)



自習(高校)



こぞき 聖トマス小崎研修館

中学の校舎に隣接する聖トマス小崎研修館。

中学1年生たちは4月から6月にかけて、30名ほどのグループごとに、ここで一週間の共同生活をおくります。1日約3時間半の自習時間の中で、学校中心の学習習慣を身につけ、食事の配膳や掃除を通じて個人の責任を自覚します。

感謝と祈りの時間を体験した新しい星光生たちは、ここから「世の光」に向けての道を歩み始めます。

※聖トマス小崎は、1597年に長崎で殉教した「日本二十六聖人」の一人。深い信仰と強い意志を備えた少年でした。



「君たちが若者というだけで、わたしは君たちを熱愛する」—— ドン・ボスコ

合宿を体験して

Student's Voice



星光での合宿と聞くとは勉強ばかりの合宿を想像する人が多いと思いますが、実際の合宿ではゲームをしたり球技をしたり楽しい時間が多く、僕には今でも忘れられない思い出です。ドン・ボスコの言った「遊びの重要性」を実感できるのが合宿です。

74期生 | 高松 富之介さん

Student's Voice



合宿を通して生まれる先生方との厚い信頼関係や、男子校ならではの陽気さの中、一つの目標に向かい努力することで深まる友情は、星光でしか味わえない醍醐味です。この合宿を積み重ねて作る思い出は、かけがえのない生涯の財産だと思います。

72期生 | 山田 一瑛さん

Career Guidance

進路指導

6年間見守りつづける担任団 生徒の希望を尊重した進路指導

本校では、社会の諸分野で活躍なさっている方々の講演会を頻繁に催しています。合宿時の「夜の集い」では、OBの大学生・大学院生から、研究や就職についての話も聞きます。中学生のときから自分の将来について思いを巡らせ、多様な選択肢の中から進むべき道を各自が自主的に選び取る——そのサポートを、生徒に寄り添いつづける担任団が中心となってすすめていきます。



国公立大学

年度	2024年度			2023年度			2022年度		
	現	卒	計	現	卒	計	現	卒	計
現卒別									
東京大	10	4	14	9	7	16	13	3	16
京都大	24	13	37	45	11	56	22	5	27
大阪大	10	4	14	7	4	11	10	4	14
神戸大	12	4	16	9	6	15	8	1	9
北海道大	3	3	6	4	4	8	3		3
東北大	1		1	3		3	1	1	2
九州大							1	1	2
東京工業大		1	1	1	1	2			
一橋大	1	4	5	1	1	2	1	1	2
大阪公立大	14	9	23	15	5	20	9	10	19
京都府立医科大	2		2	1	1	2	1		1
奈良県立医科大	2	1	3	3	2	5	6		6
和歌山県立医科大	5	1	6	3	1	4	4	3	7
その他国公立大	7	12	19	10	20	30	21	20	41
合計	91	56	147	104	63	167	99	49	148

私立大学

年度	2024年度			2023年度			2022年度		
	現	卒	計	現	卒	計	現	卒	計
現卒別									
早稲田大	8	17	25	6	9	15	7	10	17
慶應義塾大	2	11	13	7	16	23	3	8	11
同志社大	16	38	54	21	40	61	11	30	41
関西学院大	5	14	19	9	16	25	12	4	16
関西大	4	9	13	7	17	24	5	12	17
立命館大	9	30	39	10	31	41		33	33
大阪医科大	4	4	8	7	5	12	3	5	8
関西医科大	1	8	9	4	4	8	6	3	9
その他私立大	24	86	110	17	70	87	29	41	70
合計	73	217	290	88	208	296	76	146	222

大学合格状況

年度	2024年度			2023年度			2022年度		
	現	卒	計	現	卒	計	現	卒	計
卒業生数	180			198			176		
現卒別									
国立大学	67	41	108	81	50	131	69	32	101
	(11)	(4)	(15)	(19)	(6)	(25)	(8)	(9)	(17)
公立大学	24	15	39	23	13	36	30	17	47
	(13)	(3)	(16)	(12)	(4)	(16)	(15)	(4)	(19)
私立大学	73	217	290	88	208	296	76	146	222
	(12)	(23)	(35)	(20)	(15)	(35)	(12)	(21)	(33)
合計	164	273	437	192	271	463	175	195	370
	(36)	(30)	(66)	(51)	(25)	(76)	(35)	(34)	(69)

※かっこ内の数字は医学科合格者数 私立大学の合格者数は延べ人数(含 文部科学省管轄外大学校) 2024年4月11日現在

次代を担う卒業生からのメッセージ

Graduate's Voice



私は科学の甲子園や化学グランプリなどの科学系のコンテストに参加しました。特に、国際物理オリンピックに参加したことは、貴重な経験でした。フィールドホッケー部では、仲間とともに念願のインターハイ出場を果たせました。大阪星光学院は、生徒一人ひとりが心身ともに大きく成長できる場所だと思います。全力で万事に取り組んで下さい。

2019年卒業 | 京都大学 医学部 医学科
氏野 道統さん

Graduate's Voice



大阪星光学院の強みはバランスの良い学校生活を送れることです。塾に行く必要が無い分、部活などにも十分に時間を使うことができます。自分なりの勉強方法を確立することで、部活動で柔道をしながら自主的に大学物理も勉強することができました。そのおかげで国際物理オリンピックにも出場することができました。

2020年卒業 | 東京大学 工学部
末広 多聞さん

Club

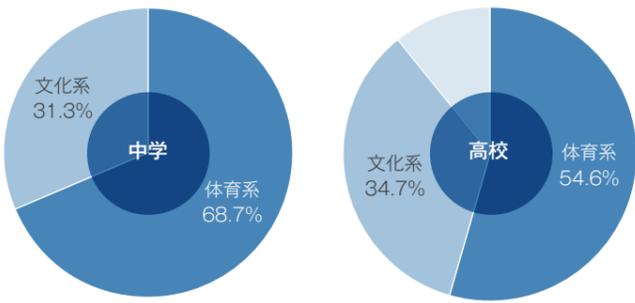
クラブ活動

共通の目標を持つ仲間と努力することで生まれる絆

学年の枠を超えて協力し切磋琢磨するクラブ活動は、学院生活の重要な要素です。同じ目標に向かって励まし合い、ともに努力するという経験は、生徒たちの社会性を高め、人間としての成長に大きな刺激を与えてくれます。現在、本校では体育系11、文化系21のクラブ(同好会)があり、中学では9割以上、高校では約8割の生徒が参加しています。



■ クラブ活動加入率 (2023年度)



■ クラブ活動一覧

- 体育系**
陸上競技・バスケットボール・バレーボール・テニス・サッカー・野球・卓球・フィールドホッケー・柔道・剣道・弓道・ライフル射撃同好会
- 文化系**
天文・ライフサイエンス・地歴研究・数学研究・E.S.S.・放送・吹奏楽・写真・美術・新聞・文芸・カトリック研究・書道・囲碁将棋・電気工学・ボランティア・合唱・物理・化学・クイズ研究会・けん玉同好会

Event

年間行事

社会に、そして世界に目を開かせる刺激にみちた体験

多彩な学校行事は、大阪星光学院の全人教育を支える大切な柱です。毎年「文化の日」に開催されるスクールフェア(文化祭)や体育大会・球技大会では、生徒たちが積極的に運営に参加します。各種の講演会や芸術鑑賞会ではプロフェッショナルの世界を垣間見て、「ドン・ボスコの集い」やクリスマス会では華やいだ祝祭の空気に身を委ねる——。南部学舎・黒姫星光山荘での合宿とともに、バラエティに富んだ年間行事が学院生活にうるおいを与えています。



「生徒には、跳び回ったり走ったりして発散する機会を大いに与えよう。スポーツ、音楽、発表会、演劇、遠足等は、規律や道徳、健康のために非常に効果的な手段です」 —— ドン・ボスコ

Facility

施設紹介

ゆとりの空間 安全で広々とした校舎

2008年に完成した校舎は、高い耐震安全性を確保した上で、様々な機能をもつ教室・特別室が数多く配置され、生徒たちの快適な学校生活を支えています。教室の前の広い廊下は、生徒たちがクラスの枠をこえて談笑する、ゆとりの空間。明るく開放的な食堂は、早朝や放課後、生徒たちの自習の場に変容します。

- 1 食堂
- 2 PC教室
- 3 教室（プロジェクター完備）
- 4 カトリックセンター
- 5 図書館
- 6 施設全景
- 7 弓道場
- 8 大教室
- 9 テニスコート
- 10 技術科教室
- 11 剣道場
- 12 柔道場
- 13 聖堂
- 14 講堂兼体育館
- 15 プール（城星学園〈連携協定校〉）



うかむせはいせき しょうぶえん
浮瀬俳跡 蕉蕪園



本校敷地の西端部は、江戸時代に「大坂一」と評されていた料亭「浮瀬亭」の跡地です。「浮瀬亭」には松尾芭蕉、与謝蕪村ら多くの文人墨客が訪れ、その料理と大阪湾の眺めを愛でたといます。芭蕉は1694（元禄7）年9月、「浮瀬亭」でひらかれた句会に病をおして加わり、2週間後の死を予感しているかのような句を残しました。

此道を 行人なしに 秋の暮れ
松風の 軒をめぐりて 秋くれぬ
此秋は 何ぞ年よる 雲に鳥

大阪星光学院は、1800（寛政12）年の建立以来奇跡的にこの地で保存されつづけた「松風碑」に加え、芭蕉の真跡を写しとって刻した「此道を…」の碑（本校28期生卒業記念として建立）などを配して、小さな庭園を整備しました。今から約40年前のことです。この庭園は、学院に凍りとした空気を運びこんでくれました。それ以来、重厚で静かな時間が、大阪星光学院の一角で流れつづけています。

News

制カバン変更のお知らせ

2022年度より従来の制カバン（革製の手提げカバン・校章入り）に代わる新しいリュックが導入されました。機能性、デザイン性どちらも優れたリュックになっています。



2025年度 大阪星光学院中学校生徒募集要項

募集人員	約190名(連携校特別選抜者を含む)	
出願資格	次の(1)および(2)に該当する児童。 (1)2025年3月に、学校教育法第1条に定められた小学校を卒業見込みの男子。 (2)入学後、保護者宅より通学可能な児童。	
出願手続	出願期間	2024年12月14日(土) 0:00 ~ 12月22日(日) 23:59
	出願方法	本校ホームページを通じてのインターネット出願のみ。 入学志願書(学校提出用)・受験票は、2025年1月6日(月)以降にA4普通紙(コピー用紙)にプリントアウトし、それぞれに写真(縦4cm×横3cm)を貼付して試験当日に持参して下さい。(WEB出願時に顔写真を登録されると、添付の必要はありません)
	受験料	20,000円 お支払いは、クレジットカード・コンビニエンスストア・ペイジーをご利用下さい。なお、お支払いには別途手数料が発生します。納入後は返還いたしません。
出願手続	受験料	20,000円 お支払いは、クレジットカード・コンビニエンスストア・ペイジーをご利用下さい。なお、お支払いには別途手数料が発生します。納入後は返還いたしません。
	受験型の選択	出願時に次の受験型のいずれかを選択して下さい。 I型:4科目型(国語・算数・理科・社会) II型:3科目型(国語・算数・理科) *出願後の変更は認められません。
入学試験	日時	2025年1月18日(土) 集合 8:40(開門7:45) 入学志願書回収 8:55 *上履きをご用意下さい。
	科目	国語(60分・120点) 9:05 ~ 10:05 算数(60分・120点) 10:25 ~ 11:25 理科(40分・80点) 11:45 ~ 12:25 《昼食》(I型受験生のみ) 社会(40分・80点) 13:15 ~ 13:55
	調査	志望校調査(アンケート方式) *I型受験生は社会終了後、II型受験生は理科終了後。
面接	遠隔地からの受験生に関しては、志望校調査後に入学後の通学方法についての簡単な面接を行います。	
選抜方法	I型受験:以下①~③の最高点を受験生の得点とします。 ①4科目合計点 ②国語・算数・理科の合計×1.25点 ③国語・算数・社会の合計×1.25点 II型受験:国語・算数・理科の合計×1.25点を受験生の得点とします。 I型・II型の区別はせず、いずれも400点満点で判定します。	
合格発表	日時	2025年1月19日(日) 13:00 ~ 本校ホームページ「合格発表サイト」をご覧ください。
入学手続	入学金	300,000円 本校ホームページ「入学手続サイト」にて下記期間中に納入して下さい。 2025年1月19日(日) 13:00 ~ 1月20日(月) 11:00 お支払いは、クレジットカード・コンビニエンスストア・ペイジーをご利用下さい。 なお、お支払いには別途手数料が発生します。納入後は返還いたしません。
	手続登校	2025年1月25日(土) 10:00 ~ 12:00 入学手続、制服採寸、学校指定品購入(約85,000円)の申し込み など *上履きをご用意下さい。
入学者登校日	第1回	2025年2月 1日(土) 14:00 講堂
	第2回	2025年2月22日(土) 14:00 講堂
学納金	年額	授業料 540,000円(4・7・12月に分納) 施設費 60,000円(4・12月に分納) 諸経費 11,000円(各種行事費等) 校友会費 4,800円(生徒協議会費、クラブ活動助成費) 後援会費 26,400円
	その他	学年費、合宿費等(寄付等はありません)

*学校指定品代金、授業料等は2024年度の額です。経済情勢等により変更する場合があります。

入学手続についての重要なお知らせ

- 入学金納入は、本校ホームページ「入学手続サイト」にて納入期限(1月20日(月)11:00)までに完了して下さい。
- 入学金のお支払いは、クレジットカード・コンビニエンスストア・ペイジーをご利用下さい。本校窓口では取り扱うことはできませんのでご注意下さい。
- 入学金納入完了後に確認メールを送付いたします。
- 納入された入学金は、いかなる場合も返還することができませんのであらかじめご了承下さい。
- 納入期限(1月20日(月)11:00)までに入学金のお支払いがない場合は、入学資格を失います。
- 入学手続きは、入学金を納入されただけでは完了しておりません。1月25日(土)に必ず登校していただき、残りの手続きを終えて完了となります。
- 1月25日の手続登校後に入学を辞退される方は、必ず本校に電話で連絡下さい。
- インターネット出願時の入力事項に事実と相違がある場合は、入学許可を取り消すことがあります。

中学入試説明会 10月12日(土)14:00~11月9日(土)14:00 於 講堂
(事前予約が必要です。本校ホームページ「入学案内」をご覧ください。)

中学校入学試験

中学校入学試験概要(2022年~2024年)

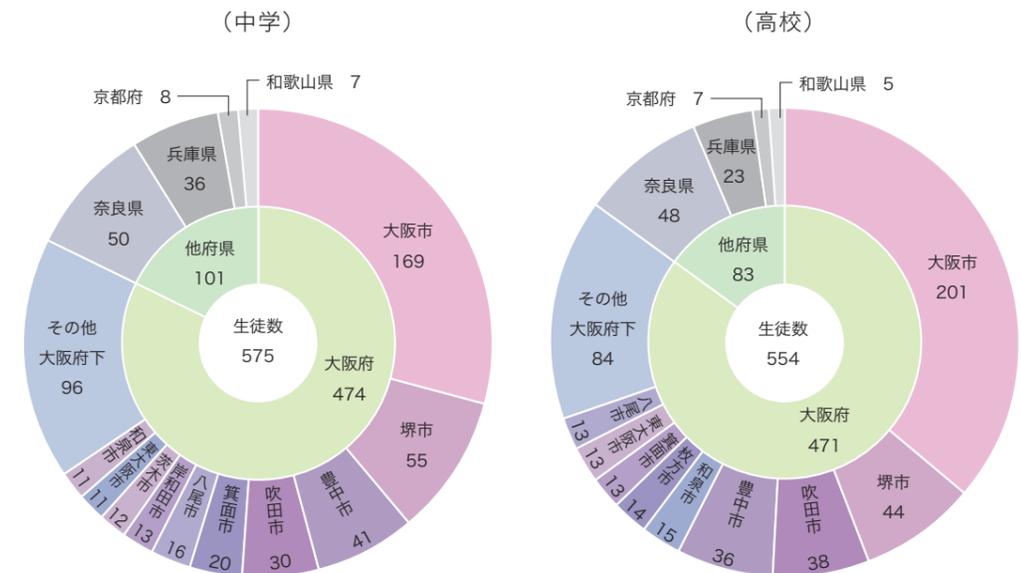
年	入試科目	受験者数	合格者数	入学者数	最高点	合格最低点
2022	I型(4科目)	513	209	191	350	256
	II型(3科目)	172	69			
	I型・II型合計	685	278			
	特別選抜	8	8			
2023	I型(4科目)	517	225	196	318.75	239
	II型(3科目)	178	64			
	I型・II型合計	695	289			
	特別選抜	7	7			
2024	I型(4科目)	495	228	192	333.75	252.5
	II型(3科目)	166	72			
	I型・II型合計	661	300			
	特別選抜	3	3			

中学校入学試験成績(2018年~2024年)

年	国語		社会		算数		理科		総合	
	受	合	受	合	受	合	受	合	受	合
2018	63.1	67.9	57.7	61.9	68.3	88.3	60.3	68.3	248.1	286.3
2019	75.9	84.3	60.5	64.6	55.6	74.8	52.4	57.1	242.4	281.4
2020	72.8	79.6	59.3	63.5	68.4	82.2	53.9	58.8	253.8	285.3
2021	68.5	75.9	58.4	62.5	82.3	99.8	61.5	66.5	271.6	306.9
2022	71.0	77.5	54.8	59.0	58.1	75.5	62.2	67.9	245.5	281.0
2023	64.0	70.9	51.5	56.5	62.9	76.3	51.0	57.2	229.2	262.2
2024	70.6	75.9	51.6	55.8	66.0	79.3	56.5	61.6	246.4	275.4

受…受験者平均点 合…合格者平均点

生徒居住地分布(2024年度)



2025年度 大阪星光学院高等学校生徒募集要項

募集人員	約15名	
出願資格	次の(1)および(2)に該当する生徒。 (1)2025年3月に中学校を卒業見込み、または既に卒業している男子。 (2)入学後、保護者宅より通学可能な生徒。	
出願方法	出願期間	2025年1月20日(月)～2月1日(土)
	出願方法	本校ホームページを通じてインターネット出願。 なお、1月14日(火)以降に、出願の準備として事前に出願情報を登録して下さい。本校ホームページを通じてアクセスできます。 インターネット環境をお持ちでない方は、本校まで相談下さい。
	受験料	20,000円
	払込期間	2025年1月20日(月) 0:00～2月1日(土) 23:59 お支払いは、クレジットカード・コンビニエンスストア・ペイジーをご利用下さい。なお、お支払いは別途手数料が発生します。納入後は返還いたしません。 受験料の納入は、必ず在籍中学校による「申込確認書」の確認後に行ってください。
出願書類	出願書類	「入学志願書」と「個人報告書」を提出(在籍中学校に確認の上、郵送もしくは持参)。なお、英検準1級以上を取得している受験生は、証明できる書類(コピー可)も提出して下さい。 郵送 2025年1月20日(月)～2月1日(土)消印有効 本校持参 2025年1月20日(月)～2月1日(土) 9:00～16:00(土曜日:9:00～13:00、1月26日(日)は除く)
	受験型	専願か併願のいずれか一方を選択して下さい。
試験日	日時	2025年2月10日(月) 集合 8:40(開門8:00) *上履きをご用意下さい。
	科目	国語(60分・120点) 9:00～10:00 英語(60分・120点) 10:15～11:15 <リスニングテスト10分を含む> 数学(60分・120点) 11:30～12:30 《昼食》 社会(40分・70点) 13:10～13:50 理科(40分・70点) 14:05～14:45 併願者のみ志望校調査(アンケート方式) 専願者のみ面接(1人約10分) 15:00～
選抜方法	国語(120点)・英語(120点)・数学(120点)・社会(70点)・理科(70点)合計500点満点の得点、および個人報告書と面接の内容を考慮して判定します。 なお、英検準1級以上を取得している受験生は、「90点(読み替え得点)」と「当日の英語の試験の得点」を比較し、高い方の得点を採用します。	
合格発表	日時	2025年2月11日(火・休) 10:00～ 本校ホームページ「合格発表サイト」をご覧ください。 *可否結果は、在籍中学校へ通知いたします。
入学手続	入学金	入学金 300,000円 本校ホームページ「入学手続サイト」にて下記期間中に納入して下さい。 専願 2025年2月11日(火・休) 10:00～2月12日(水) 23:59 併願 2025年2月11日(火・休) 10:00～3月22日(土) 23:59 お支払いは、クレジットカード・コンビニエンスストア・ペイジーをご利用下さい。なお、お支払いは別途手数料が発生します。納入後は返還いたしません。納入期限までに入金がない場合は、入学資格を失います。
	手続登校	本人と保護者がお来校下さい。 専願 2025年2月22日(土) 13:00～ 併願 2025年3月24日(月) 10:00～ 所定の手続きと、制服採寸、学校指定品購入(約85,000円)の申し込みをして下さい。 *上履きをご用意下さい。
学納金	年額	授業料 540,000円(4・7・12月に分納) 施設費 40,000円(4・12月に分納) 諸経費 11,000円(各種行事費等) 校友会費 4,800円(生徒協議会費、クラブ活動助成費) 後援会費 26,400円
	その他	学年費、合宿費等(寄付等はありません)

*学校指定品代金、授業料等は2024年度の額です。経済情勢等により変更する場合があります。

*本校は「大阪府私立高校生等就学支援推進校」の指定を受けています。
*外部各種団体の奨学金制度を利用できます。

高校入試説明会 10月12日(土)14:30～/11月9日(土)14:30～ 於 会議室

アクセスマップ



和歌山	JR和歌線	天王寺	谷町線	2分
奈良	JR大和路線	天王寺	谷町線	2分
松井山手	JR学研都市線	大阪天満宮 南森町	谷町線	10分
奈良	近鉄奈良線	上本町 谷町九丁目	谷町線	2分
名張	近鉄大和線	上本町 谷町九丁目	谷町線	2分
橿原神宮前	近鉄南大阪線	天王寺	谷町線	2分
みさき公園	南海本線	JR大阪環状線	天王寺	2分
林田園都市	高野線	JR大阪環状線	天王寺	2分
三宮	阪急神戸線	梅田 東梅田	谷町線	13分
川西新橋口	阪急宝塚線	梅田 東梅田	谷町線	13分
北千里	千里線	南森町	谷町線	10分
樟葉	京阪本線	天満橋	谷町線	7分

■ JR線 天王寺駅から北へ徒歩約10分
■ 近鉄 上本町駅から南へ徒歩約15分
■ 大阪メトロ谷町線 四天王寺前夕陽ヶ丘駅から南へ徒歩約2分
※乗り換え等に要する時間は含みません。

イベント情報

オープンスクール 2024年 9月14日(土) 14:00～ 詳細はHPにて 場所:本校	中学入試説明会 2024年 10月12日(土) 14:00～ 11月9日(土) 14:00～ 場所:講堂	高校入試説明会 2024年 10月12日(土) 14:30～ 11月9日(土) 14:30～ 場所:中学棟2F会議室	スクールフェア(文化祭) 2024年 11月3日(日・祝) 9:00～ 場所:本校
--	---	---	--

○ オープンスクールは小学5年生が対象となります。また、web上で申し込みが必要になります。
○ 入試説明会はweb上で申し込みが必要になります。詳しくはHPをご覧ください。
○ スリッパ等の上履き・下足袋をご持参ください。○ 駐車場はありませんので、車でのご来校はご遠慮ください。
※社会情勢等の影響により変更の可能性がございますので、詳しくはHPをご覧ください。

上町台地・夕陽丘 豊かな緑と由緒ある史跡に囲まれたうるおいの環境——交通アクセスも至便です

伝 藤原家隆の墓
「新古今和歌集」の撰者として知られる藤原家隆は最晩年、この地に「夕陽庵」を結んで日想を修めました。

天王寺七坂
本学院を取り囲むように、緑と静けさに包まれた歴史散歩が楽しめます。古きよき大阪の古もかけをどども、散歩する人たちに安らぎを与えています。

愛染堂
境内の多宝塔は大阪市内最古の木造建築物。大阪に夏を告げるといわれる愛染祭りでは、宝篋龍が本学院近辺を練り歩きます。

玉出の滝
大阪市内唯一の天然の滝とされ、滝に打たれて行をする人の姿もみられます。本学院周辺は、かつて、名水どころとして有名でした。